

# 令和5年度 長崎市立小島中学校 学力向上プラン

学校教育目標 「人間性豊かで、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成」

## 学力向上にかかわる学校経営方針

- (1) 学習規律の確立
- (2) 指導方法の改善による「楽しい授業」「わかる授業」の実践
- (3) GIGA スクール構想の実現及びキュビナ・ICT 機器の活用
- (4) 家庭学習の充実
- (5) 評価・評定の工夫
- (6) 小中連携

## 授業改善 (PDCA サイクルで学力向上)

- (1)「めあて」と「まとめ」が子どもに届く授業
- (2)学力の土台となる「読む」「聴く」ことの指導
- (3)根拠を明確にして、自分の考えや意見を表現し、交流する場の設定
- (4)主体的・対話的で深い学びのある授業の展開

## 重点努力目標

- 生徒用学校評価アンケートにおいて「先生方は、授業の約束事を徹底し、わかりやすい授業を行っている。」→95%以上  
「家庭学習の習慣が身についている」→80%以上
- 全国・県・市学力調査の結果がそれぞれ平均以上。
- 各教科で評定3以上が 80%以上

## 【教育課程編成上の工夫】

- 朝の時間の活用  
・読書と合わせて、1年ではタイピング、2、3年ではキュビナを活用した学習を行う
- 個に応じた指導の徹底(特別支援教育等)
- 基礎的・基本的な技能や知識の習得・反復
- 思考力・判断力・表現力育成。よく聴き考える場面、話し合いの場面の意図的な設定

## 【指導内容・指導方法の工夫】

- 「授業 5 つの約束」のスタンダード化
- 学力の土台となる「読む」「聴く」力を鍛える指導
- 学力向上の視点に基づく定期・実力テストの実施と検証
- 家庭学習の支援
- ICT 機器の活用

## 【校内研修】

研究テーマ:「新しい生活様式に対応した、すべての生徒が安心できる学びの環境づくり」

### GIGA スクール構想の具体的実践

- chromebook を活用した授業デザイン
- 環境整備と基礎知識の共有
- 教職員のスキルアップ
- 授業実践

### SDGsの実践、教科横断的な取組

- 総合的な学習の時間をはじめ、各教科で横断的に学びを深める

## 【家庭や地域社会との連携】

- 個人面談(6月・2月)  
・アセスによる学級全体と生徒個人の把握
- 三者面談(7月・11月)
- ホームページによる情報発信
- 学校だより・学級通信の定期的な発行
- メディア・リテラシーの共有  
・メディアの利用に関する家庭の指導力向上  
・土曜授業での SNS ノートながさきの活用
- 家庭や育成協との連携を行う